

見て・聞いて・体感する

# みやこのジオ・ポイントマップ



早池峰山

薬師川

浄土ヶ浜



宮古市水産物消費拡大キャラクター「サーモンくん・みやこちゃん」

【お問い合わせ】宮古市産業振興部商業観光課  
〒027-8501 岩手県宮古市新川町2番1号  
☎0193-68-9091 FAX 0193-63-9120  
平成27年3月末現在

- 宮古市商業観光課 ☎68-9091
- (一)宮古観光文化交流協会 ☎62-3534
- 宮古駅前総合観光案内所 ☎62-3574
- 孝(防災)カイト(観光案内所内) ☎77-3305
- 宮古旅館ホテル案内所(観光案内所内) ☎62-4060
- 宮古民宿案内所(観光案内所内) ☎62-3574


宮古市内観光お問い合わせ(市外局番:0193)

- 早野** 盛岡(JR山田線/約2時間10分)
- 盛岡** 平泉(JR東北本線/約1時間20分) 花巻(JR東北本線/約35分) 仙台(東北新幹線/約44分) 東京(東北新幹線/約2時間10分)
- JR** 仙台(東北新幹線/約1時間50分) 新利根(約96分) 盛岡(106/124/127/約2時間10分) 盛岡南(約99分) 盛岡北(約99分) 盛岡南IC(国道106号/約2時間) 盛岡北IC(国道106号/約2時間)
- 自動車** ※花巻空港から盛岡駅までVIAあり
- 花巻** 盛岡(約2時間5分) 大板(約1時間20分) 赤松(約1時間10分)
- 飛行機** 札幌(約55分)

## 宮古までのアクセス

### 1 田老の防潮堤(たるらのぼうちようてい)

1896年(明治29年)の明治三陸大津波と1933年(昭和8年)の昭和三陸大津波と大きな津波により壊滅的な被害を受けた田老地区(旧田老町)。防潮堤の整備は昭和三陸大津波の翌年(昭和9年)から始まり昭和53年に整備が完了しました。町全体を囲む総延長2,433メートル、高さ10メートルの長大な防潮堤は「万里の長城」と呼ばれています。




### 2 たるろ観光ホテル跡(たるろかんこうホテルあと)

東日本大震災により6階建の建物の4階まで浸水し、1・2階は完全に破壊され、その破壊力を感じることが出来ます。防災意識の向上を目的に、ホテル6階から撮影した津波が襲来する映像の上映と、田老防潮堤の上から田老地区の防災の取り組みを紹介する「学ぼう防災」ガイドの取り組みを行っています。また、津波遺構第1号になっています。




### 3 津波到達点(つなみとうたつてん)

明治29年の明治三陸大津波の最大波高15メートル、昭和8年の昭和三陸大津波の最大波高10メートルを示すプレートが設置されています。東日本大震災ではその高さを超える津波に襲われたら何処でも此の位の高所へ逃げる。速く逃げ遅れれば津波に追いつく。常に近くの高い所を用意して置き、浄土ヶ浜にも石碑が建立しています。




### 4 津波記念碑(つなみきねんひ)

田老第一小学校の裏に昭和8年の津波記念碑が建てられており、津波に備える以下の文面が刻まれています。「大地震後には津波が来る。地震があったら此処へ来て一時間我慢せ。津波に襲われたら何処でも此の位の高所へ逃げる。速く逃げ遅れれば津波に追いつく。常に近くの高い所を用意して置き、浄土ヶ浜にも石碑が建立しています。」



### 5 三王岩(さんのおういわ)

高さ50メートルの男岩を中心に、左側が女岩、右側が太鼓岩の3つの岩からなっており、白亜紀(1億年前頃)の海に堆積してできた砂岩や礫岩(宮古層群)から構成されています。宮古層群が堆積する前の北上山地の骨格を作った火山活動の痕跡で、激変の時代から穏やかな海への変化を見ることができます。




### 6 震災メモリアルパーク中の浜(しんさいメモリアルパークなかのはま)

東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けた中の浜キャンプ場のトイレと炊事棟を、「震災遺構」として保存しています。震災廃棄物の再生資材を活用した「展望の丘(海拔約15m)」に登れば、両崖に設置された津波遡上高(最高海拔約21m)のサインが目に入り、大津波の高さを想像することができます。



### 7 潮吹穴(しおふきあな)


1億年前に堆積した宮古層群の礫岩で、淡水の流下、海水の浸透作用により洞穴が生じたものと考えられています。潮吹穴の深さは海底まで約16メートル、洞穴の奥行は約20メートルと考えられています。海が荒れたときには潮の高さが30メートルにも達します。昭和14年9月に国の天然記念物に指定されています。






### 8 日出島(ひでしま)

日出島は、白亜紀(1億年前頃)に堆積してできた宮古層群日出島層から形成されています。周囲1.8キロ、高さ30~40メートルの断崖に囲まれ、上部は、平らな島となっています。別名軍艦島とも呼ばれ、宮古市内にある一番大きな島です。昭和10年12月に日出島クワトロミツバハメの繁殖地として国の天然記念物に指定されています。



### 9 ローソク岩(ローソクいわ)

浄土ヶ浜の北、大沢海岸の北部に突き出た巨大な岩がローソク岩です。白亜紀(1億年前頃)に堆積した原地山層で、火成岩で形成されています。ローソク岩の周辺は、粘板岩質の岩が海蝕により浸蝕し、その固い岩脈部分だけが残ってきた大変珍しいものです。昭和14年9月に国の天然記念物に指定されています。




### 10 崎山貝塚(さきやまかいづか)

姉ヶ崎から続く台地上に位置する縄文時代前期の貝塚で、史跡からは集落跡の他、縄文土器、骨角土器の釣針や銚、鯨や鹿の骨が出土し漁労や狩りによって生活していた縄文人の生活環境や三陸の海との関わりをうかがえます。国指定史跡です。




### 11 浄土ヶ浜(じょうどがはま)

浄土ヶ浜に見る白い岩肌は、5,200万年前(第三紀)に、マグマの動きによりできた流紋岩という火山岩で、二酸化ケイ素を多く含むという特徴をもっています。また、マグマが流れた模様「流理構造」や柱上に発達した割れ目「柱状節理」などの地殻変動の様子を見ることができます。




### 12 鮭ヶ崎(とどがさき)

本州で最も東に位置している重茂半島にある鮭ヶ崎(東経142度4分21秒・北緯39度32分48秒)です。周辺の地層は、1億3千万年前頃の火山活動によりできたものです。鮭ヶ崎灯台は、明治35年3月に建てられましたが、太平洋戦争開戦に被災を受けたことから、昭和25年6月に復元されました。




### 13 十二神山(じゅうにしんさん)

重茂半島中心部の十二神山東麓にある樹齢150~300年の天然広葉樹林で、ミズナラ・サワグルミのほか、直径1メートルを超すケヤキ・トチノキの巨木が混交し、最も自然度の高い森林と言われています。林内は多くの植物や動物のすみかとなっており、十二神山の「フナ・スズク群落」は太平洋沿岸型の冷温帯を代表する原生林でわが国唯一のものです。



### 14 黒森神社・黒森神楽(くろもりしんじやくろもりかぐら)

義経主従は3年3月にわたって黒森山に籠もって行を修め「大般若経」六百巻を書写したという言い伝えがあります。黒森山は古代から地域信仰の拠点だったことが窺えます。黒森神楽は、平成18年3月に国の重要無形民俗文化財に指定されています。




### 15 腹帯の混在岩(はらたいのこんざいがん)

はるか遠く海底に堆積した海の薬層が、1億5,000万年以上前の地殻大移動で運ばれてきた岩石です。泥岩、チャート、砂岩、石灰岩、玄武岩などからなる混在岩で構造運動で形成された様子も確認できます。



### 16 薬師川溪流の古生界(やくしがわのりゅうのこせいがい)

薬師川は、小国川との合流点から上流10kmほど続く渓流であり、深い森林と深谷、溪流釣りのメッカとして知られています。ここでは、早池峰山から続く早池峰構造帯と南部北上帯の地層を連続的に観察できます。林道沿いには「鉄胎の岩屋(早池峰構造体の露頭)」があり、室町時代より早池峰山が信仰の対象であったことがわかります。



### 17 早池峰山(はやちねさん)

標高1,917mの早池峰山は、北上山地における最高峰です。4億7千万年前頃~4億6千万年前頃の早池峰混合岩類といわれる、超長塩基性のからん岩や蛇紋岩から構成されています。また、国指定特別天然記念物のハヤチネウスユキソウなどの固有種や、カトウハコベを代表とする「蛇紋岩植物」が自生しています。



# みやこのジオ・ポイントマップ

12 鮭ヶ崎

13 十二神山

本州最東端の碑

# 道の駅情報



## 道の駅みやこ

東日本大震災により被害を受け、平成25年にリニューアルオープンしました。名物宮古の塩を使った「海のソフトクリーム」が人気です。特産品の販売はもちろん、宮古の塩を使った商品を展開しているほか、道の駅みやこオリジナルキャラクター「うねこグッツ」を販売しています。

宮古市臨港通 1-20  
☎0193-71-3100  
営業時間：9:00～17:00  
(レストラン 11:00～15:30)



## 道の駅たろう

国道45号線沿いにあり、海草類・菓子類・おみやげ品・地元の駄菓子などを取りそろえているほか、産直やませの丘では地元旬の野菜や鮮魚も並びます。ファストフード店では、果肉入りのイチゴソフトクリームが味わえます。

宮古市田老字重津部 34-2  
☎0193-87-2239  
営業時間：9:00～18:20  
(10月～3月は17:20まで)



## 道の駅区界高原

盛岡方面より区界トンネルをぬけてすぐそばにある、国道106号線沿いの道の駅。レストラン「ピープレッジ区界」では黒豆などの特産品を使った料理が味わえるほか、醤油味の辛いあかけラーメン「タールラーメン」も人気です。ファストフード店では紫蘇ソフトクリームの販売もしています。

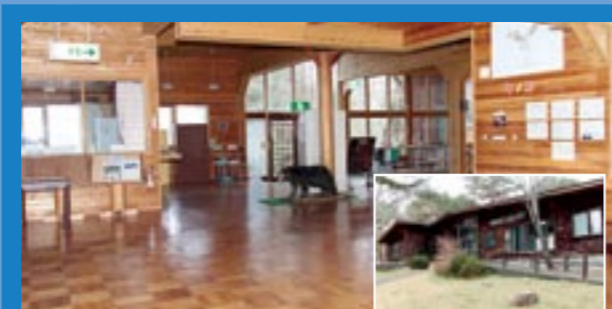
宮古市区界 2-434-2  
☎0193-77-2266  
営業時間：8:00～18:30



## 道の駅やまびこ館

国道106号線沿いにある、盛岡と宮古の中間に位置する道の駅です。「レストランもうら亭」では、味噌味の辛い名物ラーメン、「ドラゴン麺」があり、大中小と辛さが選べます。特産品、黒豆を使った「黒豆ソフトクリーム」はここならではのものです。

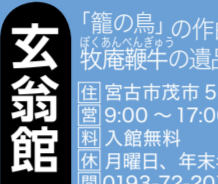
宮古市川内 8-2  
☎0193-85-5011  
営業時間：8:00～18:30



## 姉ヶ崎フィールドハウス

休暇村陸中宮古に隣接した園地に、環境庁(現環境省)が、三陸海岸の自然景観を学ぶ施設として設置したものです。三陸海岸に暮らす人々と自然の豊かなふれあいをテーマに展示が行われています。

住 宮古市崎ヶ崎地内  
☎9:00～16:00(4月～11月)  
申込み(12月～3月)  
入館無料  
☎0193-62-9911(休暇村陸中宮古)



## 玄翁館

「籠の鳥」の作曲者・鳥取春陽や宮古街道など開きした牧庵雅牛の遺品を中心に数々の資料が展示されています。

住 宮古市茂市 5-2  
☎9:00～17:00  
入館無料  
休 月曜日、年末年始  
☎0193-72-2019



## 北上山地民俗資料館

山の生活を支えてきた道具や暮らしを中心に、農耕、信仰など幅広い分野の資料が展示されています。

住 宮古市川井 2-187-1  
☎9:00～17:00  
入館 一般200円  
小中高生100円  
休 月曜日(祝日の場合は翌日、年末年始、館内整理日など)  
☎0193-76-2167

## 浄土ヶ浜ビジターセンター

三陸復興国立公園の中核施設として環境省が整備したもので、浄土ヶ浜地区に限らず、三陸復興国立公園全体の自然環境や景観の素晴らしさを伝えるとともに、各地域の最新情報やその他の国立公園の案内情報、自然体験情報などを提供しています。

住 宮古市日立浜町 32-69  
☎8:00～18:00(4月～10月)  
9:00～17:00(11月～3月)  
休 年末年始  
☎0193-65-1690



## 薬師塗漆工芸館

地域の特産資源である木材、漆、アワビ貝などを使った木工品、漆工芸(螺鈿)品の販売や展示をしています。

住 宮古市箱石 5-22-1  
☎9:00～16:30  
入館 大人300円、小中学生150円  
休 月・火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始  
☎0193-74-2222

## 山口公民館

寄生木展示室では、徳富蘆花著の小説「寄生木」に関する資料が展示されています。黒森神楽展示室では、国指定重要無形民俗文化財に指定されている黒森神楽について映像や人形でご案内しています。

住 宮古市山口 1-3-14  
☎9:00～17:00  
入館無料  
休 月曜日、年末年始、公民館休館日  
☎0193-62-3670



## 岩手県立水産科学館

全国初の水産専門の科学館です。岩手の漁場の歴史、伝統漁法や養殖技術、未来の水産業の姿まで展示しています。また、漁民に伝わる民話など、興味深い資料も目にする事ができます。

住 宮古市日立浜町 32-28  
☎9:00～16:30  
(入館は16:00まで)  
休 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始  
入館 一般300円、学生140円  
(20人以上団体割引あり)  
☎0193-63-5353

## ジオ・パーク(ポイント)について

ジオパークの「ジオ」とは大地、地球、「パーク」は公園を意味する言葉で「大地の公園」と言われています。

三陸地域(青森・岩手・宮城)では、地球の活動によって形成されたさまざまな自然の造形を見ることができ、これらは昔から現在の形でそこにあったものではなく、太古の時代から続く地球の営みが長い時間をかけて少しずつ造ってきたものです。今日までの地球の歴史が刻み込まれている、その痕跡を「科学の目」を通してみることで、いつ、どこで、どのようにして出来たのかを知ることができます。

三陸地域には、国内では珍しい古生代から中生代の貴重な地質をはじめ、現在に至るまでの様々な地質(地層・岩体)が寄せ合わさって形成されています。宮古市は浄土ヶ浜をはじめ三王岩・日出島・早池峰山・たろう観光ホテル跡など地球活動の歴史を実際に見ることができる地域(ジオポイント)に恵まれています。

従来の観光に、地質学、地理学のような科学的視点を含む「ジオツーリズム」を取り入れることで、新しい魅力を発信していきます。



### 1年を通じて楽しめる、宮古の味覚。

大地の恵みに舌鼓み

▲道の駅みやこ 三陸ジオパーク定食

◀浄土ヶ浜レストハウス 浄土ヶ浜カレー

カキ

ワカメ

春

夏

スルメ

ウニ

秋

サケ

冬

アワビ

どんこ

毛ガニ

いくら

サンマ

## みやこ 観光ガイド

### 宮古駅前総合観光案内所

市内景勝地等の観光案内をはじめ、ジオポイントまでの所要時間等を案内いたします。また、四季折々のイベントのほか、市内の食堂や土産品の紹介も行っております。

営業時間：8時30分～18時(年中無休)  
☎0193-62-3574



### 学ぶ防災 (一社)宮古観光文化交流協会

東日本大震災により大きな被害を受けた宮古市の田老地区は、昭和9年に防潮堤の整備を進め、昭和53年に高さ10メートル、総延長2,433メートルの防潮堤の整備を完了、別名「万里の長城」と名付けられました。これまで、田老地区で行ってきた防災対策と、田老地区にあるホテル6階から撮影した津波が襲来する映像を見学いただき、震災を後世への教訓として伝えるとともに、防災意識を高めていただくことを目的としたガイド「学ぶ防災」を行っています。

所要時間：30分～1時間(要予約)  
集合場所：田老漁協ビル付近(三陸鉄道やバスでお越しの場合は三陸鉄道田老駅集合)  
協力金：ガイド1人につき4,000円  
☎0193-77-3305 宮古観光文化交流協会「学ぶ防災ガイド」



### みやこ浄土ヶ浜遊覧船

変化に富んだ美しい海岸線を洋上から見学いただけます。浄土ヶ浜周遊コースでは、遊覧船のガイドが、ローソク岩、潮吹穴、日出島などのジオポイントをはじめ、ウミネコの繁殖地 姉ヶ崎、浄土ヶ浜について案内いたします。

料金：大人1,250円、子ども630円(1人あたり)  
所要時間：約40分(浄土ヶ浜周遊コース)  
☎0193-62-3350 若手県北自動車(株)遊覧船事業部

### 浄土ヶ浜ビジターセンター

浄土ヶ浜の特有な地質と、浄土ヶ浜周辺に生息する、花鳥木についてビジターセンター職員がご案内いたします。

宮古市日立浜町 32-69 / 入館無料  
休館：年末年始  
開館時間：[4月～10月]8:00～18:00、[11月～3月]9:00～17:00  
☎0193-65-1690



### 青の洞窟・さっぱ船遊覧

さっぱ船(小型の磯船)を使い、浄土ヶ浜の各所を船長が案内いたします。最後に、三陸海岸の「青の洞窟」の異名をとる八戸穴へ。季節により青や緑の幻想的な表情を魅せてくれます。

宮古市日立浜町 32-4  
営業時間：8:30～17:00(営業期間：3月～11月・冬季休業)  
☎0193-63-1327

【さっぱ船遊覧(青の洞窟)】  
1,500円/1人  
※海況により運休(要連絡)

### 震災メモリアルパーク 中の浜

津波の脅威を感じさせられた東日本大震災以降、震災の記憶を後世に伝える場として、津波について科学的に説明した展示解説などを使用しながら、語り部たちが避難時の体験をお話いたします。

所要時間：約60分  
集合場所：宮古市崎山第3地割124  
ガイド料金：6,000円～  
☎0193-62-9911 休暇村陸中宮古